

令和6年度 第4回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和6年7月24日（水） 18:00 ～ 18:55

【場 所】 厚田保健センター 1階多目的ホール

【出席者】 11人（14人中）

役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
会 長	渡邊 教門	○	委 員	鎌田 憲一	○	委 員	立崎 寿朗	○
副会長	東 幸子	○	委 員	平賀 敏和	○	委 員	大内さつき	○
委 員	小笠原英史	○	委 員	今 光江	○	委 員	石田 靖子	×
委 員	小山 玲子	○	委 員	森田 瞳	○	委 員	角田 由希	×
委 員	河合 保郎	○	委 員	笹谷 清一	×	委 員	欠員	

厚田支所 ～ 東支所長、吉田市民福祉課長（併 厚田学校教育課長・厚田社会教育課長）
 企画課（厚田浜益担当）～ 幸田課長
 地域おこし協力隊 ～ 奥本隊員、竹林隊員
 集落支援員 ～ 八木沼支援員
 事務局（地域振興課）～ 渡部課長、近藤主査、中村主任

【傍聴者】 1名

【次 第】 1. 開会

2. 会長挨拶

3. 情報交換会（リラックスタイム）

4. 協議事項

- （1）地域協議会の今後のあり方について
- （2）厚田区地域おこし協力隊の募集について

5. 報告事項

- （1）「地域協議会ニュース」の発行について
- （2）子どもの居場所づくりについて

6. その他

7. 閉会

1. 開会

2. 会長挨拶

渡邊会長より、委員の皆様へ本日参加いただいたお礼と、協議事項の中で忌憚のないご意見をお願いし挨拶に代えた。

3. 情報交換会（リラックスタイム）

奥本隊員より「道の駅フルーツまつり」について、竹林隊員より「ラリーイベント」について、大内委員より「モルック協議体験会」について、平賀委員より「HBCラジオ放送」についてそれぞれ情報提供を行った。

4. 協議事項

（1）地域協議会の今後のあり方について

【 渡邊会長 】

それでは、地域協議会の今後のあり方について、ご説明をお願いいたします。

【 幸田企画課長 】

企画課の幸田でございます。よろしくお願いいたします。

昨年10月の諮問から、協議会の皆様には熱心なご議論、また地域説明会の開催など、今後の地域のあり方についてご検討いただきまして、今月2日に答申をいただくことができました。誠にありがとうございました。

浜益区の地域協議会からも厚田区と同様に、地域協議会の機能はそのまま残すこと、支所の機能をそのまま残すこと、住所に地域の名称を残すこと、これらを答申されているところです。いただきました答申をもとに、地域自治区の設置期間が終了する令和8年度へ向けて準備を進めてまいります。

以前お示ししておりましたスケジュールのとおり、本年度は残り9ヶ月となりますが、この期間を使いまして具体的な方策の検討を行う予定でございます。そして、来年度の令和7年度につきましては、本年度の検討の具体的な組織作りですとか、議会の議決が必要なものは議会の議決を、国への届け出、その他手続き、それから住民や関係機関への周知、これを丁寧に行ってまいりたいと思っています。

本年度は残り9ヶ月、これから地域協議会に代わる組織について、支所の機能について、それから住所表示について、この三つについて具体的な検討を行なってまいりますが、地域の皆様にご検討をいただきたい事項がございますので、その点について説明を申し上げます。

地域でご検討いただきたいのは、地域協議会に変わる組織についてであります。現在の地域協議会の仕組みをベースにしてご検討をしていただきたいのですが、お配りされております資料の中に「合併協議書」がありますが、合併の際に作られた条例です。この第6条から地域協議会の組織について書かれております。

第8条には、地域協議会の審議事項ということで書かれております。地域協議会の権限につきましては、地方自治法202条の7に規定されておりまして、事務所が所掌する事務に関する事項、市町村が処理する地域自治区に係る事務に関する事項、住民との連携強化に関すること、それから、条例の第8条にございます市町村の施策に関する重要事項のことが書かれてあり、これについては決定したり変更しようとするときには、必ず地域協議会に意見を聞かなければならないというふうに地方自治法に規定されておりまして、市町村長はこれらの意見を勘案して適切な措置を講じなければならないとなっております。

したがって、協議書の第8条に記載されている重要事項とは、新市建設計画に関する事項、過疎計画に関する事項、基金の使い方、これら三つのことについては、変更や策定をするときには、必ず地域協議会の意見を聞かなければならないというふうになっております。

今ご説明申し上げました地域協議会の仕組みをベースに、権限につきましては、市の方ではそのまま残すことを検討しております。これまでと同様の権限を持ちながら構成員の皆様にも過度の負担がなく持続可能で、効率的、

実効的な協議会について、構成員や会の運営方法等についてご検討をいただきたいと思います。新しい組織の権限の付与につきましては、条例などの規定の整備について、私どもの方で検討してまいりたいと思います。

現在の地域協議会に代わる組織について、そのまま残すことももちろんできますし、部分的に変えてもいいと思います。今後も引き続き住民自治の推進を図るために、地域の実情に合わせてご検討いただければと思います。本年度中に一定の方向をお示しいただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、答申いただきました残りの二つ、支所の機能と住所表示につきましては、市役所の関係所管と協力しまして、答申の実現に向けて検討を進めてまいります。検討の状況につきましては、年度内に皆様にもご報告をさせていただきたいと思っております。説明は以上でございます。

【 渡邊会長 】

はい、ありがとうございます。この条例（合併協議書）がこのまま残るということではないんですね。

【 幸田企画課長 】

はい、地域自治区の終了とともにこの条例も無効になりますので、今保障されている権限につきましては、新たに条例を設けて規定し、きちんと担保していこうと考えております。

【 渡邊会長 】

では、新たに条例を作り直すという方向でいいんですね。

はい、今後の地域協議会のあり方について具体的な検討というお話がありましたが、これまで特別な課題を協議する場合には、厚田の協議会では検討委員会を立ち上げて議論をしてきたという経緯がありますので、今回も検討委員会を立ち上げて、その中で具体の検討を行ってから協議会に提案し、協議するという流れにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

～「異議なし」～

ありがとうございます。それではそのように進めさせていただきます。この件について事務局からよろしくお願いいたします。

【 事務局（渡部課長） 】

検討委員会のメンバーは、地域協議会の会長と副会長に、厚田区自治連合会の会長と副会長を加えた4名でスタートしてはいかがかと考えています。

【 渡邊会長 】

事務局からの説明がありました。「私も入りたい」という方がもしいらっしゃれば、いいですね。今後ですね、メンバーが固定というわけではなく、状況によっては色々なメンバーにも協力していただく場面が出てくるかと思うので、最初はまず4人から始めていきたいと思うのでよろしくお願いいたします。

（2）厚田区地域おこし協力隊の募集について

【 渡邊会長 】

次に、厚田区地域おこし協力隊の募集について事務局からご説明願います。

【 事務局（近藤主査） 】

まずは、協力隊の現在の体制について報告いたします。令和3年7月採用の奥本隊員は、本年6月末をもって

丸3年が経過しましたが、新型コロナによる任期特例を用いて、コロナ禍で活動が制限された期間に相当する9か月を延長しています。これにより、来年3月までは奥本隊員と竹林隊員の2名体制は維持されます。今回は、この2名に加える形で新たに1名を募集するものです。

それでは、地域おこし協力隊の募集について説明をいたします。

令和6年度の募集については、地域おこし協力隊活用検討委員会で昨年から協議を始め、先月開催した検討委員会で募集内容等を確認し、本日の提案となっています。「北海道石狩市厚田区 地域おこし協力隊募集」というカラーのチラシをご覧ください。

表紙には、今回募集するミッション、北海道における厚田のおおよその位置、石狩市と厚田区の簡単な紹介を掲載しています。次のページをご覧ください。

はじめに、「厚田区が求める人材」についてですが、協力隊として厚田が求める人材は、道の駅石狩「あいろーど厚田」を核とした活動を行いながら厚田の地域振興に取り組んでくれる方で、地域おこし活動に意欲と情熱がある方、心身ともに健康で明るく何事にも前向きに挑戦する方、地域住民や関係者と積極的にコミュニケーションを取ることができる方、としています。

次に、「業務概要」は、道の駅石狩「あいろーど厚田」を核とした活動で、通常時あるいは着任してしばらくは、道の駅の運営支援、売店業務、SNSを活用した情報発信、特産品の販売促進、観光案内、イベントにおける外販などが基本活動となります。これに加えて、道の駅周辺施設等を活用した「交流イベント及び体験型観光コンテンツの企画・実践」、これは、冬期間の集客イベントや体験型の観光コンテンツなど、奥本隊員がやっていることを引継ぎ、さらに発展してもらうイメージです。そして、道の駅オリジナルの「新たな特産品の開発・販売」として、新たな商品、地場産品の活用や道の駅での限定販売などを想定しています。

次に「募集要件」についてですが、募集要件は、3大都市圏をはじめとする都市地域等に居住している方で、生活の拠点を活動区域に移し居住できる方、健康でやる気があり、地方の暮らしを楽しめる方、任期終了後、起業・就業等で定住する意欲のある方、地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない方、車の運転・基本的なパソコン操作ができる方、としています。

「勤務条件」は、会計年度任用職員で1年ごとの更新、最長3年間。勤務日・時間等は、週5日、36時間15分勤務、休日及び勤務時間の変動あり。報酬は、月額20万8千円、年2回の期末勤勉手当あり。休暇は、年次有給休暇、夏季休暇や忌引休暇などの特別休暇が多数あります。

「待遇と福利厚生」は、健康保険、厚生年金、雇用保険に加入、住居・パソコンを用意、活動に要する経費等は予算の範囲で市が負担、業務に支障のない範囲で副業が可能です。次のページをご覧ください。

次に、「採用までのスケジュール」についてです。本日協議会で承認いただくことができれば、その後、市長決裁で市役所内の合意を取り付けたのちに募集作業を始めたいと考えています。予定では、8月から募集を開始し、9月末まで2か月程度の募集期間を設定したいと考えています。募集はホームページをメインとし、石狩市と北海道、移住交流推進機構（JOIN）のホームページに募集記事を掲載します。そのほか、東京事務所に依頼してJOINの「移住交流ガーデン」にチラシと応募用紙を置いてもらうことや、協力隊フェイスブックなどSNSを使ったPRを予定しています。9月末の応募締切後、1次選考である書類審査を10月上旬に行う予定です。1次選考の合格者のうち2次選考に進む意思のある方を対象に、11月中旬頃、2泊3日の「おためし地域おこし協力隊プログラム」を実施予定です。おためしは、参加必須の「1.5次選考」のような位置づけと考えています。2次選考となる面接は、WEBによる開催を予定しています。着任は、1月上旬以降で、本人の都合に合わせます。

最後のページには、道の駅周辺施設を掲載しています。今回の活動内容の一つが「道の駅周辺施設を活用したイベントや観光コンテンツの企画・実践」となることから、関連する施設の写真を掲載しています。

【 渡邊会長 】

はい、協力隊の募集についてご説明がありました。皆様から何かご質問等ありますでしょうか。

【 鎌田委員 】

勤務条件の中に報酬や手当などがありますが、これは石狩市の協力隊の方々の統一された金額なのでしょうか。

【 事務局（近藤主査） 】

はい、市内の協力隊はみんな同じ金額になっております。

【 鎌田委員 】

わかりましたけれど、上がることはないんですかね。なんか安いんですよね。

【 渡邊会長 】

これでも上がった方ですよ、前なんかもっと安かったはずですが。最初の頃は期末手当もなかったんじゃないかな。

【 森田委員 】

私の頃はありませんでしたね、もっと安かったです。

【 渡邊会長 】

そうですね、これでもかなり森田さんの頃から見れば進歩したんですよ。

【 鎌田委員 】

上がっていてもこんなもんなんですね。厚田が求める人材がなかなかこの金額ではね、お金だけの問題じゃないのかもしれませんが厳しいものがありますよね。

【 渡邊会長 】

単身で若さがあってなら何とかがんばれるのかもしれませんが、やはり家族でともなるとかなり厳しいですよ。

【 鎌田委員 】

今、正職員と非正規職員との給料の格差のことも色々と言われている中で、やっぱり安いのではと思いますよね。これで上がったっていうんだからどうしようもないですが、少しずつでもね。

【 平賀委員 】

それでも、住居の家賃とかは市で負担してくれているんですよ。

【 事務局（渡部課長） 】

はい、現在、竹林隊員が職員住宅へ入っておりますが、その住宅使用料は手当としております。森田委員の時はどうだったのかわかりませんが、当時給料が確か200万ほどだったんですが、今は320万程度になっております。

先日、事務担当者会議に参加してきましたのですが、全国で協力隊の取り合いになっているということでした。道内では北広島だけが知名度が高いようなんですが、その他はどこも募集をかけても申し込みがないと。石狩振興局でも募集しているようですが応募はないそうです。また、今年、浜益区でも募集をかけましたが1件も申し込みがない状況でした。今日この件について承認をいただければ、厚田区でも速やかに募集をかけたいと思いますが、どれだけの方にこのチラシを見ていただけるのかということが一つありますが、やれるだけの周知活動はしていきたいと思います。皆様の周りにも厚田に興味がある方がおりましたらチラシをお渡ししていただければと思いますのでご協力よろしくお願いいたします。

【 東副会長 】

募集要件の中に「3大都市圏をはじめとする都市地域等」って書いていて、なんか「3大都市圏じゃないと応募したらダメなのかな」みたいな雰囲気を感じ取れるので、これを書く必要があるのかなって思ったんですよね。九州福岡から応募する方もいるかもしれないし、わかんないじゃないですか。削除したほうがいいような気がするんですが。

【 事務局（渡部課長） 】

単純に今までこの表現で募集をかけてきていたという経過がありますが、募集については、企画課を中心に浜益区との兼ね合いもありますので、確認し対応させていただきます。

副会長が言われるとおり、3大都市圏以外からでも申し込みはできますので、もう少しわかりやすく、かつ誤解を招かないような表現を検討させていただきます。

【 東副会長 】

例えば、人口何人くらいの地域とか、経済規模がどのくらいとか、もっとわかりやすければ応募しやすいのかなと思います。

【 奥本隊員 】

実際には、赴任する自治体よりも人口が多い地域からというイメージではあるようです。札幌に来るのであれば、札幌よりも人口の多い地域からというイメージです。自治体によって書き方があってしょうけれど、この書き方自体は、総務省がこういった表現をしているため、それに倣ってのところだと思います。

【 東副会長 】

石狩で言えば人口6万人以上ってことですね。

【 奥本隊員 】

ですが、ただそうはっきりと書いてしまうというのもなかなか。

【 渡邊会長 】

一部表現を修正するということで、その他に募集の件について何かございますでしょうか。なければ、このようなスケジュールで進めていきたいと思います。

5. 報告事項

(1) 「地域協議会ニュース」の発行について

【 渡邊会長 】

続いて、報告事項に進めさせていただきます。「地域協議会ニュース」の発行について、説明お願いいたします。

【事務局（近藤主査）】

市長から諮問のあった「厚田地域の今後のあり方」について、7月2日に答申を終えたので、「地域協議会ニュース」を発行し住民へ報告するものです。（以下、内容について資料に基づき説明）

【小山委員】

これは、今後も何かあったら、発行されるということになりますか。

【渡邊会長】

事務局どうでしょうかね、今後も地域協議会のあり方ですとか、色々と話し合いがされて、変わらざるを得ないところも多々出てくると思うんですよ。そういう場合には、都度都度というわけにもいかないでしょうけれど、こういった形で発行という形になるんですかね。昔やっていましたよね。

【小山委員】

委員で地域のこととかニュース作っていましたよね。でも、事務局も色々大変ですから、こういった特に知ってもらいたいことがあった時だけの発行ということで進めた方がいいんでしょうね。

【渡邊会長】

今後もお知らせしなければならないことが出てくるとしますので、発行については、前向きに検討していければと思います。

(2) 子どもの居場所づくりについて

【渡邊会長】

次に進めさせていただきます。子どもの居場所づくりについて、ご説明願います。

【八木沼集落支援員】

お手元にある「みんなの居場所」と書かれている資料をご覧ください。あつクラ大作戦の中からスタートした「子どもに関するアンケート」について、数回前の協議会でご報告をさせていただいておりますが、その後の動きということになります。

アンケートを行った後に、「居場所づくりに協力をしたい」と言っていただいたお母様方が3名いらっしゃいまして、そのお母さん達と私とアンケートのまとめにもお手伝いいただいた札幌市立大学の堀田さんを含め5名で、実際に「どうやったら実現できるか」というところで、5月ぐらいから3回ほど、集まったりオンラインも含め会議を行いました。それから今月、予備アンケートを行い、ここに書いてあるように、7月30日と8月23日の午後1時から5時までの時間を厚田支所の2階を使いまして、「来てみてください」という呼びかけで、とりあえずやってみようということになりまして、このチラシを今月の回覧で配布する予定になっております。

「何曜日がいいのか」、「何時ぐらいが一番皆さんが希望しているのだろうか」というのがわからなかったもので、急遽7月にアンケートを取ったのですが、家庭の数だけ事情がありまして希望が割れたのですが、今週の金曜日で学校が終わりになりますので、予定の二日間は夏休み中です。なので、あえて「どんな年代の子もどうぞ」「とりあえず来てください」と、そして来てくれた子の話だったり希望を聞いたりしながら、どういう場所にしていこうかというのを決めていこうという話しになり、今回7月30日と8月23日にまずやろう、とにかくやって、そ

こからまた何か改善点・修正点があればちょっとずつ変更したりしていこうという話で今動き出しをしようとしているところです。私からは以上です。

【 渡邊会長 】

はい、ありがとうございます。何かご意見ありますでしょうか。少しずつでいいと思います、一遍にやろうとすると大変なことが一杯あるから少しずつね。将来的に子ども達の居場所を少しずつ作っていくことができればいいことなのかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

【 八木沼集落支援員 】

お時間があれば是非皆様も覗きにきていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

6. その他

【 奥本隊員 】

インターン生との交流についての企画説明

(1) 次回日程について

8月は開催せず、9月の中頃を予定。

7. 閉会

18時55分 閉会

令和 6 年 8 月 21 日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会 長 渡 邊 教 円